

めぐみ厚生センター センターだより

第 308 号

発行 2008年11月15日

佐賀市緑小路1-3

社会福祉法人

めぐみ厚生センター

めぐみ園 0952(34)7722

富士学園 0952(63)0107

ウイズ富士 0952(51)0063

発行者 栗林 恵一

事務局 0952(25)2797

印刷所 (株)古川総合印刷

「感謝の四十年」

めぐみ厚生センター

常務理事 諫山真司



長い間お世話になり、愛してやまないめぐみ厚生センターを去るときがついに来ました。いつかは去らねばならぬ時が来ると思いつつも、引き際をいつにすべきか考えておりました。そして昨年六十五歳の誕生日を迎えた時、あと一年すれば懸案のメドもつくであろうと判断し、ひそかに六十六歳の任期満了期が最良の時期であると決断していました。

思いかえせば、めぐみ厚生センターは私の福祉への一里塚であり、入門の扉でありました。

佐賀大学生時代、朝晩、利用者と共に寝起きし土・日曜などは相撲をとる、昼間は大学に通う生活を二年半程続け、いよいよ卒業の時、すっかり子供達のもつ不思議な魅力に引き込まれて、気がついたときは学部長(教授)や兄弟、友人の反対を押し切ってこの道を歩きはじめました。今では兄弟達も福祉の良き理解者でめぐみ厚生センター・恵友会の支援者になってくれています。

ここまでくるには、決して平坦な道であったと申せば嘘になります。国立コロニーでも、めぐみ園でも、労

使紛争の嵐が吹き荒れ、波乱万丈の事件も体験しました。私が福祉の道を喜びと感謝のうちにおくってこられたのも、栗林眞吾・ミサご夫妻の寛大な心のおかげです。全く畑違いで入った福祉の世界、すぐに壁につき当たりました。

そんな時快く国立秩父学園付属保護指導員養成所への内地留学をお赦しいただいたのでした。

そして仲間まで引き受けていただきました。

栗林恒俊・ミチ先生のご恩も決して忘れたことはありません。

初代眞吾先生、ミサ先生、横尾重雄先生、恵一先生、と四人の理事長にお仕えし、今日まで大過なく職責を全うし、引退できることでホッとしているというのが正直なところです。

施設長に就任以来、利用者の死亡事故ゼロで有終の美を飾れたことは何よりありがたいことです。

そして、いかなる勲章よりも価値ある「愛護福祉賞」を受賞したことも光栄の極みでありました。

今はやるべきことはすべてやった、あとは有能で意欲に満ちた後進たち

に道を譲り、来るべき福祉改革の荒波に立ち向かっていただくことを念願し、またきつと乗り切ってくれることを固く信じて、祈りつつ、めぐみ厚生センターから去りたいと思うばかりです。

私が親代わりとして支援させていただき私を慕ってくれているマイホームなどで生活している人たちのことが気にかかりますが、後の皆さんがしっかり受けとめて支援してくださいるものと確信してあとを託したいと思います。

センター役員の皆様、両学園の家族会の皆様、そして「共に生きてきた利用者の皆様」そして後援会の皆様、長い間大変お世話になりました。

皆様方と共に歩んだこの足跡は一生私の心の財産として残ることでしよう。

「邂逅と別れ」は世の定め、摂理として受け止めて思い出をあたためながら去つてまいります。

幸い、後に続く方々は識見、人格共にすぐれた方々であり安心して後を託することができます。

只々感謝の四十年でありました。皆様のご健勝と

ご多幸を祈りつつ…。



「愛護福祉賞」

めぐみ園

創立記念礼拝



創立58年目記念礼拝

十月一日、めぐみ厚生センターの創立を祝い、富樫史朗牧師による記念礼拝が行なわれました。

礼拝では、富樫史朗牧師よりお説教やご祈禱を戴き皆で讚美歌を合唱しました。

また、五十八年の長い歴史を支えられてきたことに利用者、職員一同感謝の祈りを捧げました。



プレーデー



籠はすぐそこなのに
なかなか入りません。

午後からは昼食の弁当を囲んで家族団らんのひとつときを過ごしておられました。



種目は多彩です

十月三日、秋らしい天候の下、プレーデーが開催されました。

これは、来賓・家族・利用者が一緒になって楽しむことを重点をおいた行事です。

当日は、多数の来賓・家族の大きな声援に利用者の皆さん大張り切りでプレーをおられました。

『水琴の会』唱歌の集い



踊って、盛り上がっています。

十月七日、水琴の会の皆さんが来園され「もみじ」などの唱歌や懐かしい歌、エレクトーンやハーモニカ演奏を聴かせてもらいました。

中には一緒に踊る曲もあり、利用者者の皆さんも喜んで参加されていました。

電気器具清掃ボランティア



隅々まで、ありがとうございます

十月二十四日、九電工の皆さんが、清掃ボランティア活動二十周年記念として来園され、園舎内の電気器具の保全状態確認や清掃、古くなった蛍光灯の交換をお願いしました。私達では手の届かない高所の機具清掃、ありがとうございました。

茶道教室



抹茶の量は、これ位です。

「お菓子をお願いいただきましょう」の声がかかると手をたたいて喜び、お作法よりもお菓子の方が一番興味がある様子です。



茶碗の持ち方からはじめましょう。

九月十一日より、裏千家、山下孝子(宗孝)先生を迎え(毎月第二・第四の木曜日)十名の利用者の参加で始めました。

初回は、ほとんどのの方が始めての体験で緊張した様子でしたが、先生から点てていただいたお茶を皆さん「おいしい」と喜ばれ緊張感のある雰囲気の中で毎回楽しい作法を早く覚えようと真剣な眼差しで取り組んでいます。

先生から

富士学園

ふれあい旅行

十月十六日、療護科で武雄へ旅行に行きました。

宇宙科学館では、一休さんのナレーションによるプラネタリウムを観賞しました。すばらしい星空に感動し、口々に「楽しかったよ！」と話されました。昼食は武雄物産館にて佐賀牛を味わいました。とろけるようなやわらかさに一同感激し、すべて完食しました。帰りは『がばいばあちゃんせんべい』を買い、佐賀を満喫した旅となりました。



みんなで行ってきました！

十月十五日から二十二日まで三グループ分かれて、長崎ペンギン水族館まで出掛けました。天気に恵まれ楽しい一日となり、ペンギンの可愛さに近くまで寄って行ったり、ペンギンホットケーキを食べたりしてゆつくり過ごしました。



ペンギンがたくさんいました



水族館の外にて。
～アイスもおいしかったよ～

富士学園 ウイズ富士

ふれあいフェスタ2008

去る九月二十七日、心配されていた天気も回復し、さわやかな秋晴れの下、富士学園・ウイズ富士の合同のふれあいフェスタが開催されました。

フェスタ前に二人の友人を亡くし悲しみを乗り越えての開催となりました。



でしたが、皆さんの心が一つになったフェスタとなりました。諫山施設長が踊りに参加する場面もあり、大いに盛り上がりがありました。



ウイズ富士

ふれあい旅行 in 熊本

去る十月三日、熊本の阿蘇ファームランド・カドリードミニオンへ総勢九十四名の参加で日帰り旅行へ行ってきました。

最高の旅行日和で利用者の皆様のは表情も大変喜ばれ昼食のバイキングでは種類の多さに迷われていた人もいたようです。



カドリードミニオンでは子熊とのふれあい記念撮影とミニプラレールで賞品のブタのぬいぐるみを目指す皆さん大賑わいで楽しい一日を過ごされたようでした。



訃報 富士学園

中原充芳様 お別れ会

八月二十四日に、富士学園の中原充芳様が入院先の病院で安らかに天に召され、九月九日に富士学園にてお別れ会が行なわれました。

生前、ご家族や多くの利用者から愛された人柄が思い出されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

松本孝弘様 告別式

九月八日に、富士学園の松本孝弘様が、二十五歳の若さで天に召されました。突然のことで皆さん驚きと深い悲しみに包まれました。

九月十日には、富士学園にて告別式がありました。音楽とアンパンマンが大好きだった松本様へ、たくさんのお祝いと感謝の言葉を、利用者と職員の代表者が贈りました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

聖句

見よ、わたしはあなたと共にいる。

あなたがどこへ行っても、わたしはあなたを守り、必ずこの土地に連れ帰る。わたしは、約束したことを果たすまで決して見捨てない。

(創世記 二十八章十五節)

ふれあい

めぐみ園

歯科衛生臨床実習

十月二十一日、佐賀歯科衛生専門学校の方々が歯科医師の方や歯科衛生士の方と一緒に来園されました。午前中は秋晴れの中、利用者の方と一緒に体を動かして楽しんで、午後からは、歯科臨床実習として利用者一人ひとり歯磨きの仕方や時間をかけて教えて頂きました。ありがとうございました。



大きく口を開けて...

東与賀小学校へプルタブ寄贈

今までに集めたプルタブを東与賀小学校へ寄贈のため、利用者二名、職員一名で十月二十七日に伺いました。

校長室にて、校長先生、教頭先生、六年生の担任の先生、委員会の生徒皆さんが集合して下さりプルタブ三十キロ程を寄贈致しました。



生徒皆さん、リサイクル活動に利用して下さい!!

皆様ありがとうございます (九・十月分)

◎法人へ

- 松本 隆行 様より 寄付
- 栗林 恵一 様より 寄付
- 諫山 真司 様より 寄付

◎富士学園へ

- ふれあいフェスタへ 来賓・家族の皆様より 祝儀並びにジュース類寄贈
- 中村 徳次 様より みかん寄贈
- 森永 俊吾・春代 様より 生け花奉仕
- レインボー 様より ミニコンサート奉仕

◎めぐみ園へ

- プレレディへ来賓・家族の皆様より 祝儀並びにジュース類寄贈
- 江頭 政勝 様より 餅を多数寄贈

めぐみ園

招待ありがとうございました

十月十九日佐賀県社会福祉協議会より県総合運動場での「サガン鳥栖サッカー観戦」に招待されました。



もうすぐ「キックオフ」です。「頑張れサガン鳥栖」

事業ガイド

- 《めぐみ園》
 - ・生活介護事業 「どりいむ」
 - ・地域活動支援センター
- 《富士学園》
 - ・地域移行型ケアホーム 「オリーブ」
 - ・ケアホーム7ヶ所

何でもコーナー

ノーベル賞

今年のノーベル賞は、物理学賞と化学賞で計四人の日本人の受賞が決まり、かつてない快挙となり、日本の科学の實力を世界に示したという意味で実に喜ばしい限りです。

どの仕事も六〇〜七〇年代に基礎的分野が尊重され、長期の視点で科学を育てる気風、好奇心と探求心のみに駆動されて、役に立たない研究に没頭する自由が保証されていた。

この四人に共通する素地です。ダイナマイトの発明などで知られるアルフレッド・ノーベルの名前から、ノーベルの命日の十二月十日にスウェーデンで授賞式があります。

暗いニュースばかりの今日、我々大人や未来を担う子供達に継続することの大切さ、希望と夢を与えてくれた出来事でした。

あとがき

実りの秋、例年より台風の直撃がなくいつもより豊作とのこと。過しやすい季節。読書・スポーツ、食欲... あなたの秋はどんな秋...

KEIRIN
**JK A 競輪補助
 事業完成のお知らせ**

このたび財団法人JK Aから、平成二十年度競輪補助金の交付を受けて、左記の事業を完成いたしました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、財団法人JK Aをはじめ、ご協力賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

記

- 一、事業名 福祉車両の整備補助事業
- 一、整備車両 福祉車両移送車Ⅳ
トヨタ ハイエース1台
- 一、事業費総額 318万800円
- 一、補助金額 172万5000円
- 一、施設名称 知的障害者更生施設 めぐみ園
- 一、施設所在地 佐賀市東与賀町大字飯盛1584
- 一、完了年月日 平成20年9月24日

社会福祉法人

めぐみ厚生センター

理事長 栗林 恵一

☆ **きんが**

と名付けました。



**「障害者ケアホーム
 建設設備補助事業」**

財団法人JK Aから、平成二十年度競輪補助金の交付を受けて、ケアホーム「ピースハイムめぐみ」を建設中です。



9月15日 棟上げ

盲導犬×KEIRIN

目となり、パートナーとなり、人生をともに歩んでくれる盲導犬たち。

今なお大勢の方が、彼らの助けを待っています。まだ小さな盲導犬普及の輪を、一人でも多くの人に広げていくために、ケイリンは、盲導犬の育成を支援しています。歩きだす勇気を、希望の光を、すべての人に。

Ring! Ring!

ケイリンの補助事業「RING!RING! プロジェクト」は走り続けています。



RING!RING! プロジェクト競輪補助事業ホームページ

<http://ringring-keirin.jp>

財団法人 日本自転車振興会 〒102-8011 東京都千代田区六番町 4-6
機械工業振興部 / 03-3512-1273 / 公益事業部 / 03-3512-1276

財団法人 J K A